




2010年3月期 決算説明資料

<2010年4月>

 日本高純度化学株式会社



決算の概況

1. 2010年3月期 業績 ①

業績の推移

(単位:百万円、%)

決算期 項目	2009年3月期		2010年3月期				
	実績	前年 増減比	期初計画	修正計画	実績	修正計画 増減比	前年 増減比
売上高	8,146	-27.7	8,500	7,900	8,087	2.4	-0.7
営業利益	1,077	-49.7	1,100	1,320	1,329	0.7	23.3
経常利益	1,119	-48.4	1,130	1,360	1,370	0.7	22.5
当期純利益	401	-68.8	700	820	804	-2.0	100.5

2. 2010年3月期 四半期の概況

CS by CS

Customers Satisfaction by Challenge & Speed

(単位:百万円、%)

決 算 期	2010年 3月期1Q	前年 同期間比	2010年 3月期2Q	前年 同期間比	2010年 3月期3Q	前年 同期間比	2010年 3月期4Q	前年 同期間比
売 上 高	1,832	62.8	1,894	68.5	2,105	135.6	2,254	247.7
売上総利益A	574	73.6	571	91.5	606	133.8	506	259.5
販 管 費 B	232	98.0	242	89.6	228	94.2	225	100
B/A	40.5	-	42.4	-	37.6	-	44.5	-
営 業 利 益 C	341	63.0	330	93.3	377	178.7	280	-
C/A	59.5	-	57.8	-	62.2	-	55.3	-
経 常 利 益	359	63.5	339	94.7	389	175.2	282	-

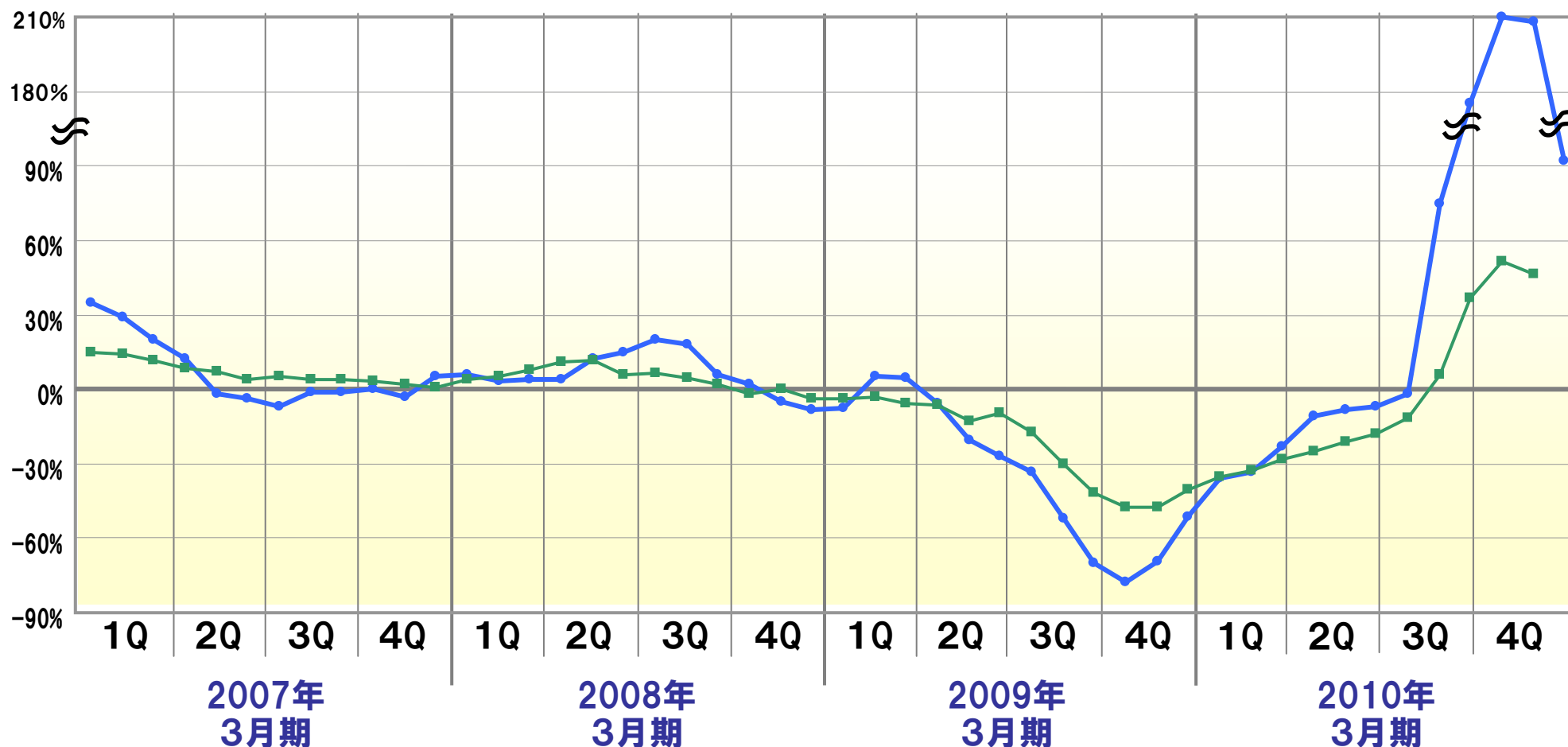
※前年4Qの営業利益、経常利益は赤字だったため、前年同期比は「-」としています。

3. 売上総利益および経常利益の推移



4. 主要部品メーカー受注高 Vs. 当社売上総利益の推移 (前年同月比) (前年同月比)

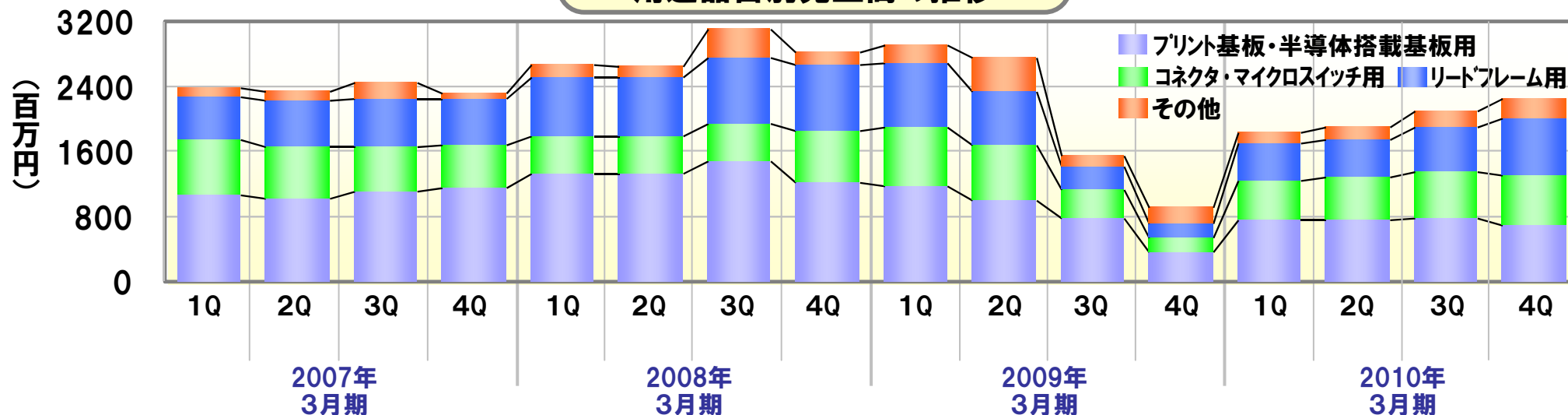
● 当社売上総利益 (前年同月比※)
■ 主要12社受注高平均 (前年同月比)



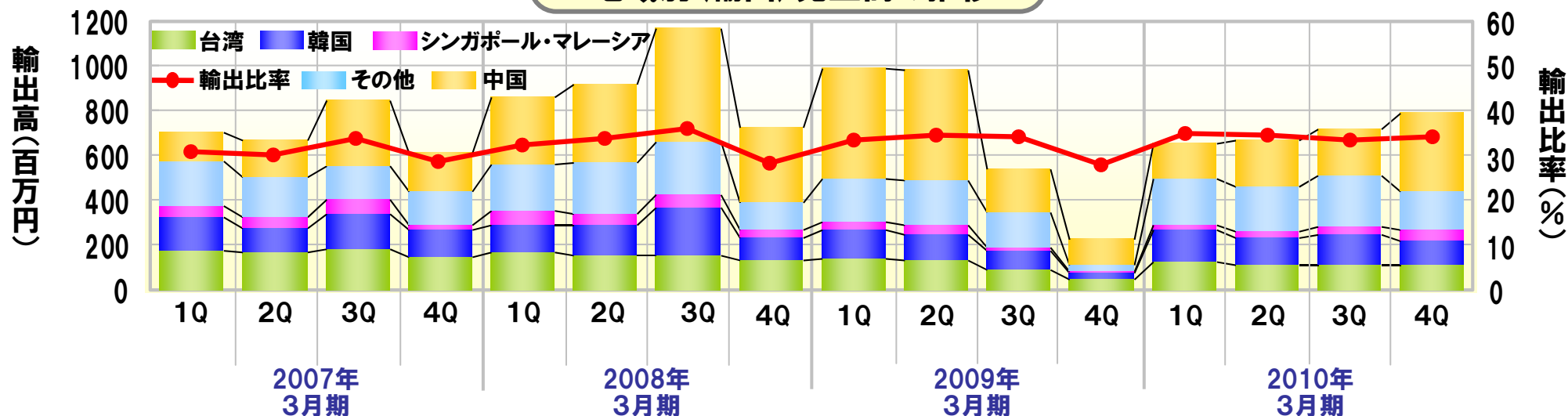
・出所:UBS作成「電子部品各社12社の月次受注伸び率」 ※3月は未集計のため数値なし
 ・当社売上総利益:貴金属による変動要因を回避する為、売上総利益を使用。 ※前年同月比の数値は前後3ヶ月の平均値

5. 用途品目別および地域別売上高の推移

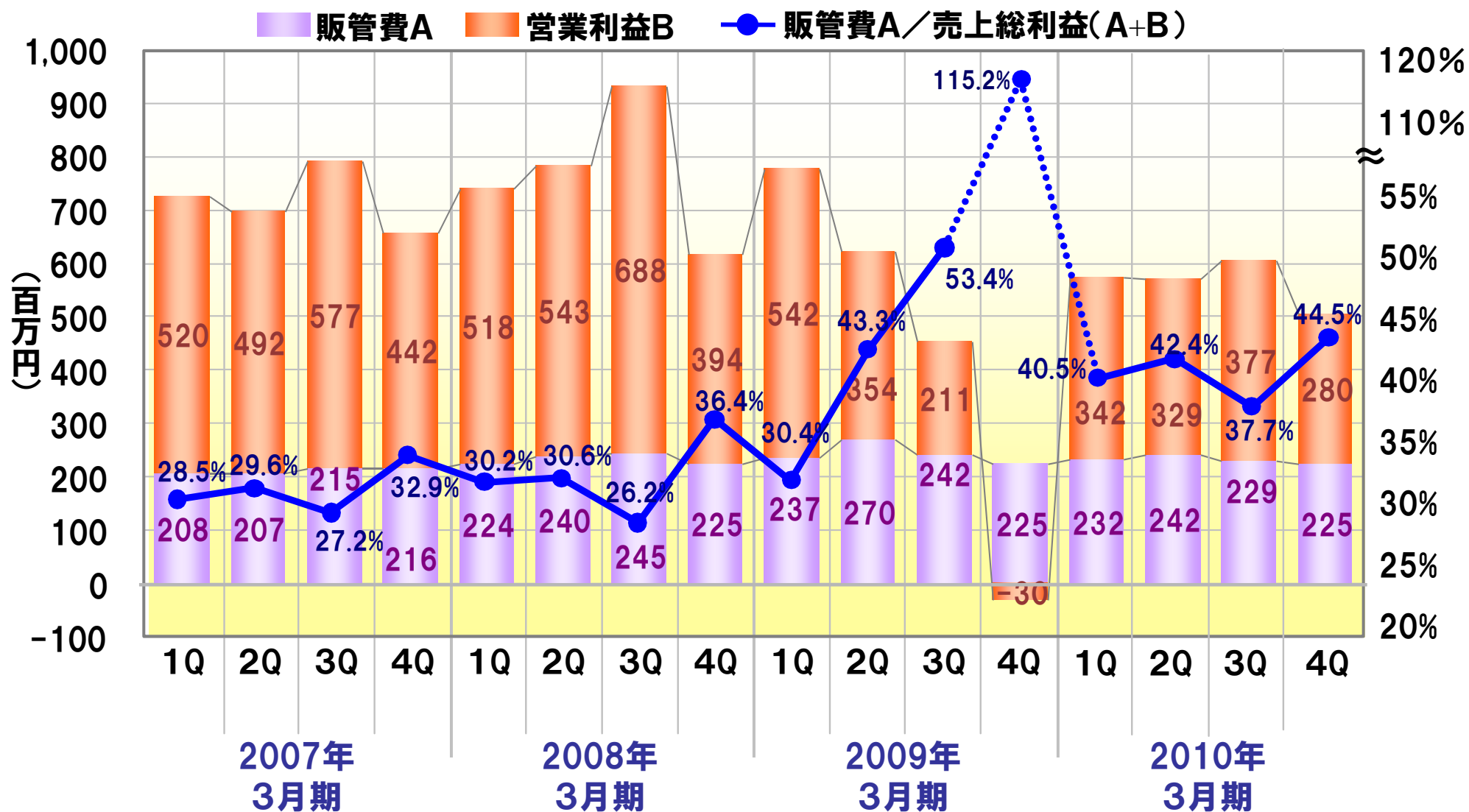
用途品目別売上高の推移



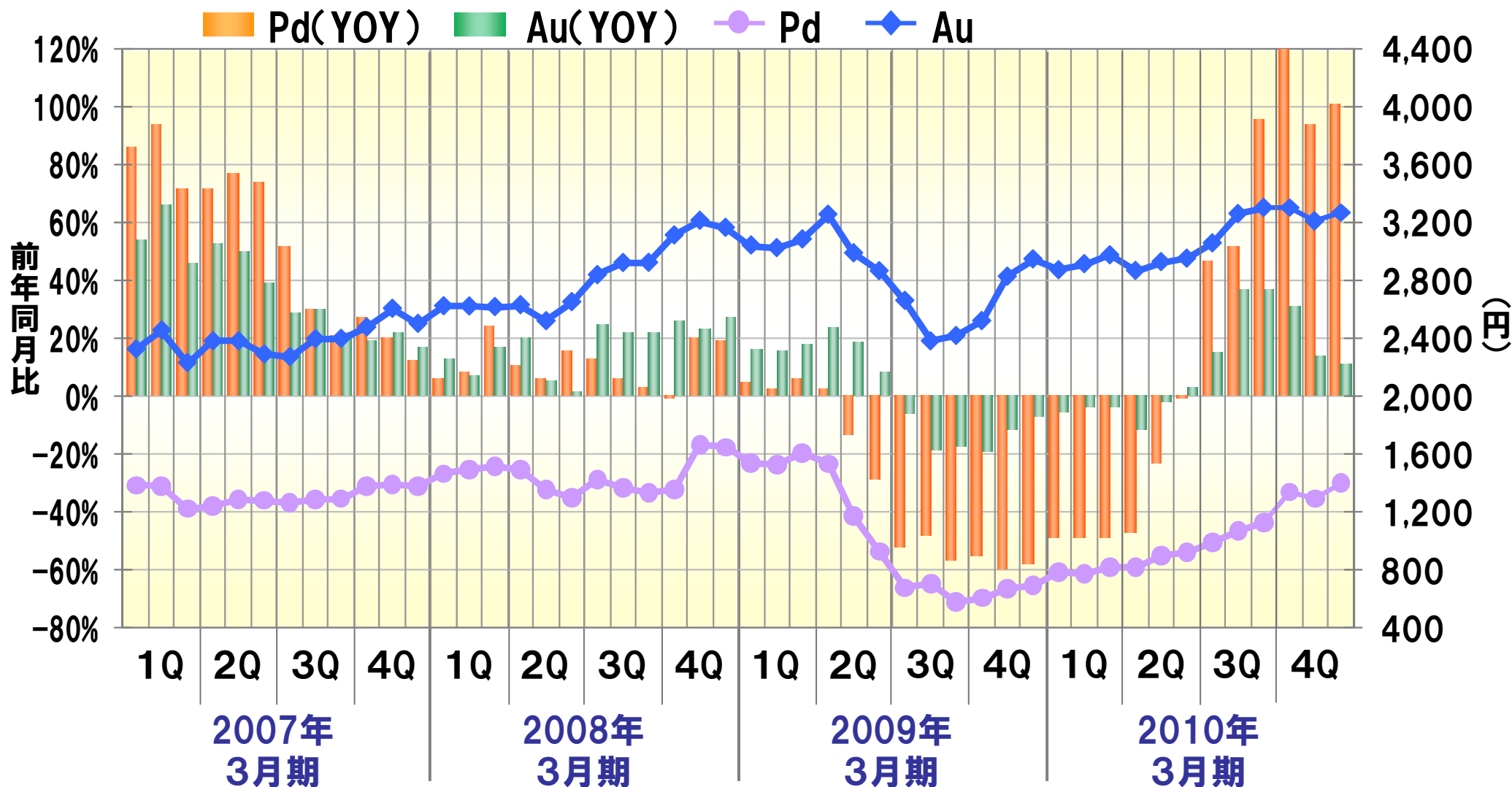
地域別(輸出)売上高の推移



6. 販売管理費および営業利益の推移



7. 金 (Au) およびパラジウム (Pd) の市況



電子部品業界の概況

一昨年の世界同時不況の後、Windows7搭載パソコンや薄型テレビに加えて、ネットブックPC、タブレットPC、スマートフォンなどの新しい市場セグメントが牽引役となり、半導体などの需要回復が鮮明になってきた。

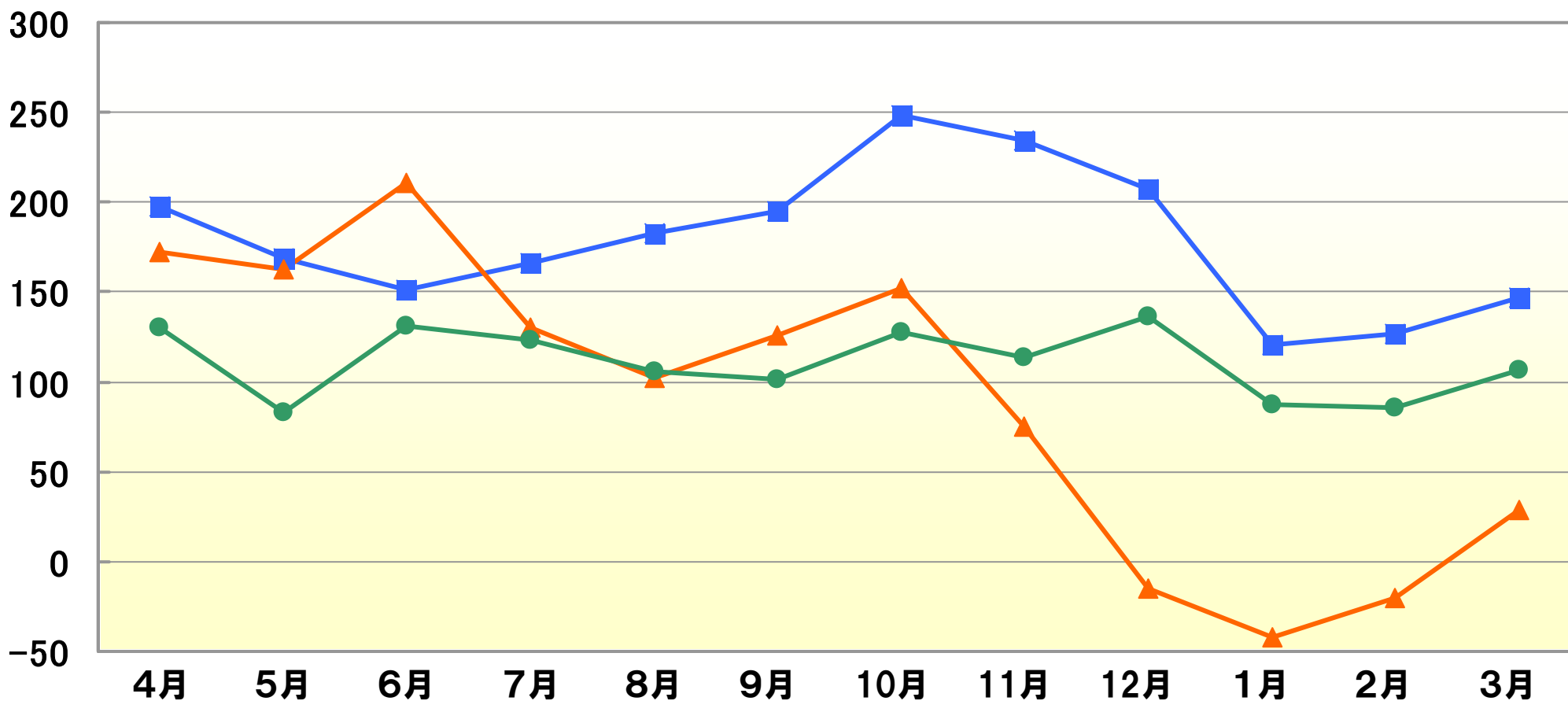
用途別概況

- **プリント基板・半導体パッケージ基板用**: PCのMPU用パッケージ基板や海外市場におけるスマートフォンや携帯電話用パッケージ基板、マザーボード、フレキシブル基板向けめっき薬品の需要が堅調に推移したが、国内の需要回復が遅れ気味
- **コネクタ・マイクロスイッチ用**: 金の使用量を大幅に削減できるコネクタ向け新硬質金めっき薬品の拡販が順調に推移
- **リードフレーム用**: 鉛フリーはんだへの移行が引き続き多くのアプリケーションに浸透し、リードフレーム向けパラジウムめっき薬品の販売が好調

9. 営業利益の推移(3ヶ年)

(百万円)

■ 2007年度 ▲ 2008年度 ● 2009年度



10. 財務諸表 ～貸借対照表(要約)～

(単位:百万円、%、株)

項目 \ 期末	2008年3月期		2009年3月期		2010年3月期	
流動資産	5,735	73.7	4,585	71.9	5,074	65.1
固定資産	2,052	26.3	1,788	28.1	2,714	34.9
資産合計	7,787	100.0	6,373	100.0	7,788	100.0
流動負債	1,066	13.7	213	3.3	862	11.1
固定負債	117	1.5	139	2.2	252	3.2
純資産	6,603	84.8	6,021	94.5	6,673	85.7
負債+資本+純資産	7,787	100.0	6,373	100.0	7,788	100
自己株式	-		1,597		1,597	
発行済株式数	63,114		63,118		63,130	
B P S (円)	104,445.56		97,294.39		107,555.49	

11. 四半期財務諸表 ～損益計算書(要約)～

(単位:千円)

	2009年 (1月～3月)	2009年 (4月～6月)	2009年 (7月～9月)	2009年 (10月～12月)	2010年 (1月～3月)
売上高	910,494	1,832,395	1,894,003	2,105,800	2,254,839
売上原価	714,516	1,258,307	1,322,239	1,499,431	1,748,471
売上総利益	195,977	574,088	571,763	606,368	506,367
販売費及び一般管理費	225,845	232,569	241,945	228,710	225,925
営業利益	-29,867	341,519	329,818	377,658	280,441
営業外収益	1,615	18,074	9,664	12,160	2,322
営業外費用	-814	238	782	-	6
経常利益	-27,236	359,355	338,699	389,819	282,757

12. 配当金の推移

一株当たり配当金

(単位:円、%)

	中間	期末	通期	EPS	配当性向
2004.3	2,500	3,500	6,000	38,263	15.7
2005.3	2,000	3,000	5,000	23,370	21.4
2006.3	3,000	5,000	8,000	37,419	21.4
2007.3	2,500	3,000	5,500	19,511	28.2
2008.3	4,000	4,000	8,000	20,459	39.1
2009.3	4,000	4,000	8,000	6,453	124.0
2010.3	4,000	4,000	8,000	13,081	61.2

※04.3期末に1株から2株への株式分割を実施

※06.3期末に1株から2株への株式分割を実施



今後の展望と事業戦略

■業績の予想

(単位:百万円、円、%)

決算期 項 目	2011年3月期			
	第2四半期	増減率	通 期	増減率
売 上 高	4,190	12.5	8,380	3.6
営 業 利 益	750	11.8	1,500	12.9
経 常 利 益	770	10.3	1,540	12.4
当期純利益	450	7.9	900	11.9
1株当たり 当期純利益(円)	7,313.15	-	14,626.30	-

■ 目指すはファインケミカル企業

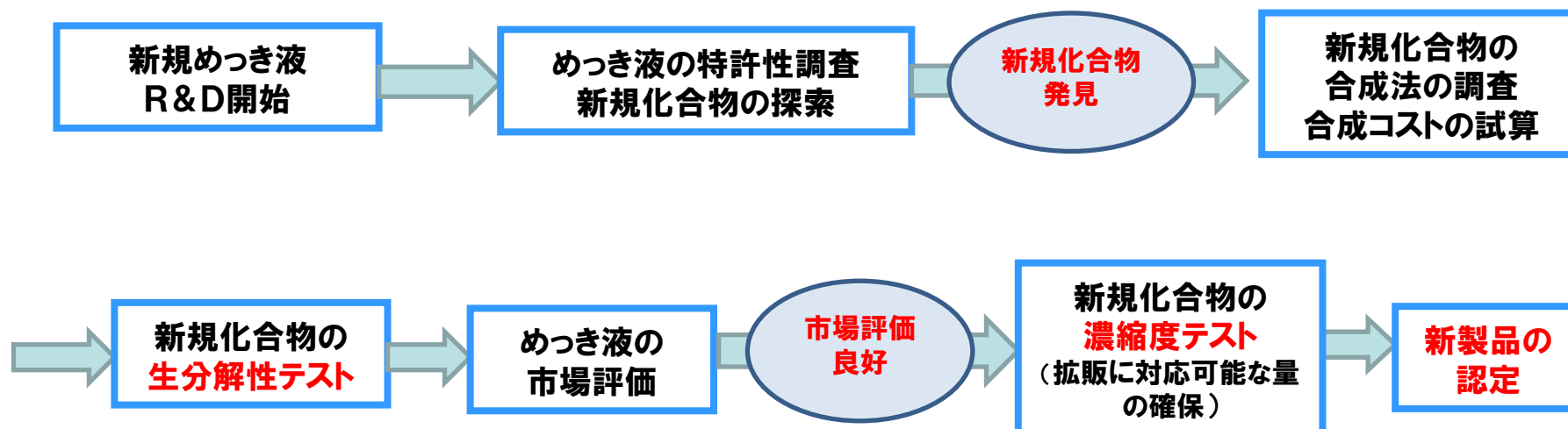
- ・電子部品業界に貴金属めっき薬品を提供するグローバルなファインケミカル企業を目指す2006-2009年中期計画は堅持。
- ・JPCの業績は電子部品業界の需要に依存することが大きいですが、業界の金めっきの需要は4-5年前のレベルに低下しており、業界の需要が元に戻るのを待つだけでは不十分。

新しいスローガン

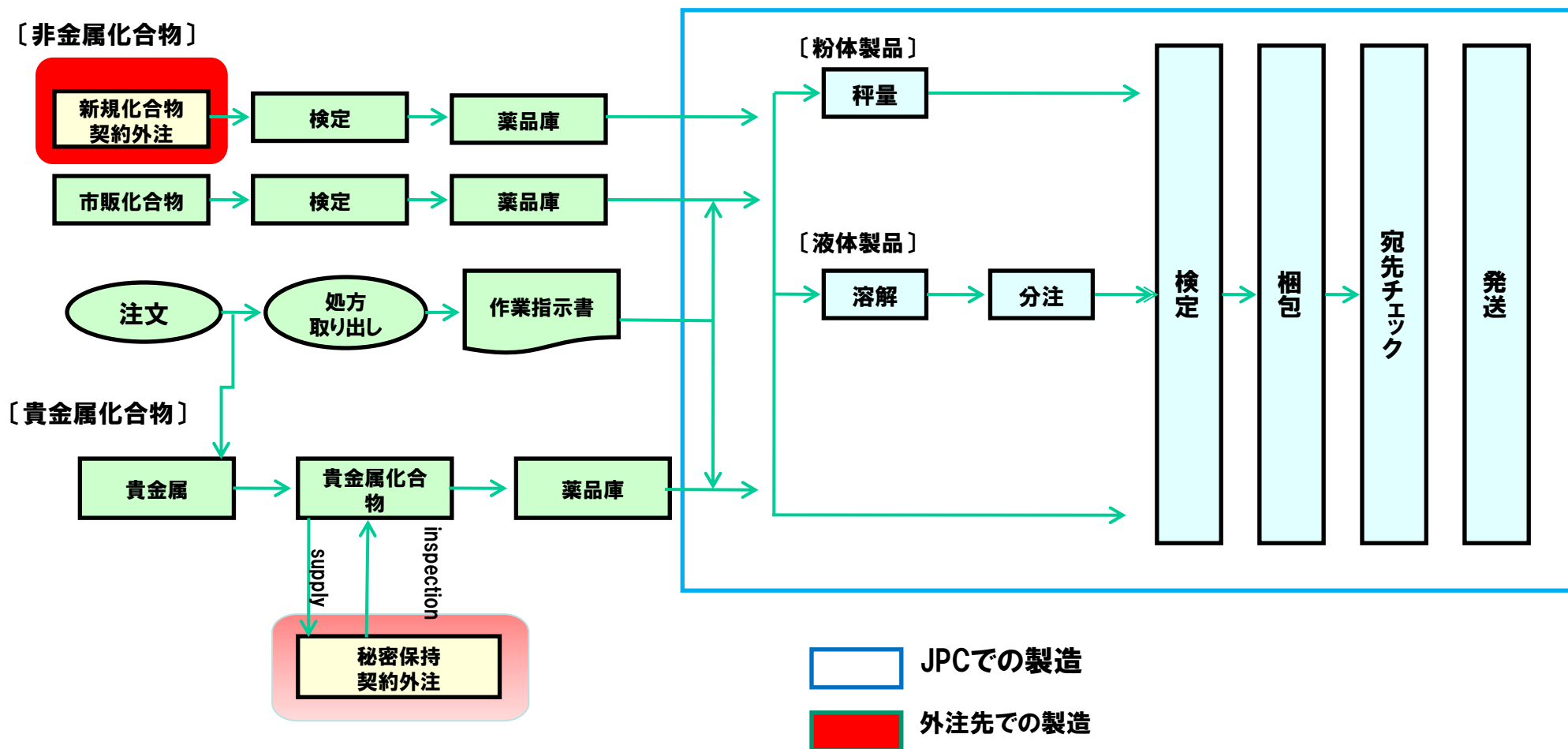
“5年以内に上市した新製品の利益を全社利益の20%以上にする”
を掲げ、利益率の高いファインケミカル企業を目指す。

新規化合物を探索することが高付加価値の新製品開発には必須。
従来は既存化学物質(市販試薬)を配合してめっき液を開発することが多かったが、既存物質の調合で得られる性能には限界がある。

新規化合物を探索し、量産してゆくには、化審法登録(経済産業省)が必須。微生物を利用した生分解性試験、魚類を利用した蓄積性試験が化審法には必要で、新製品の認定に漕ぎつけるには5-6年の開発期間が必要。
(eg. LGA用NEO GOLD, 微細コネクタ-用BAR7, 薄膜フレーム用NANO)
電子業界の要請にタイムリーに対処するには複数の新規化合物を用意しておく技術力と蓄積が必要。



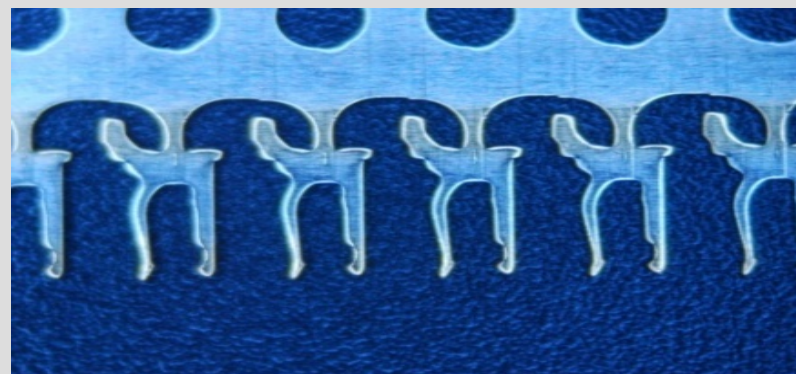
新化合物合成は外注(NDA契約)にて行いオーバーヘッドを抑える。
製造部は調剤薬局の役をスピーディーにこなす。



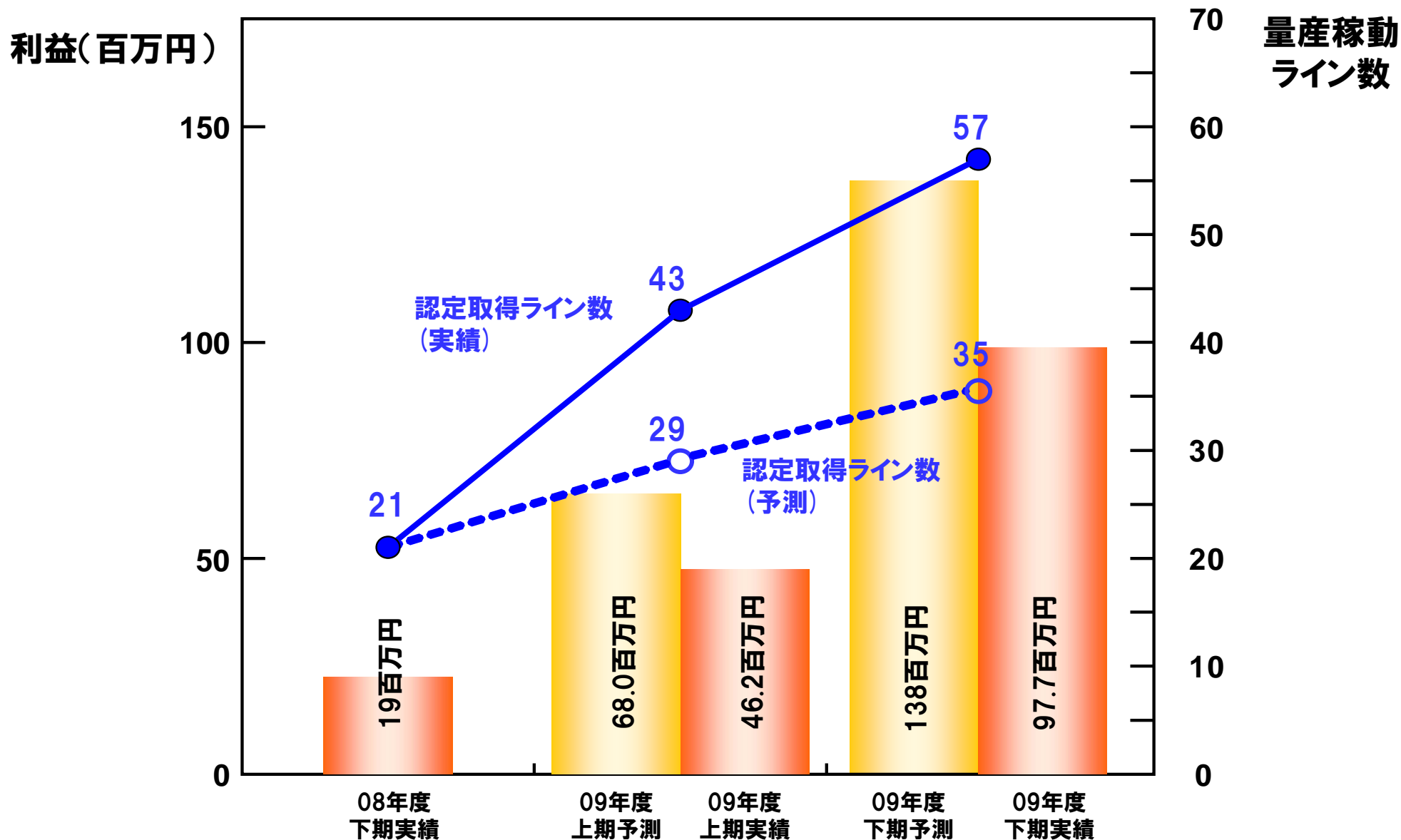
汎用コネクター



スマートフォン用
BB コネクター 高さ1mm以下



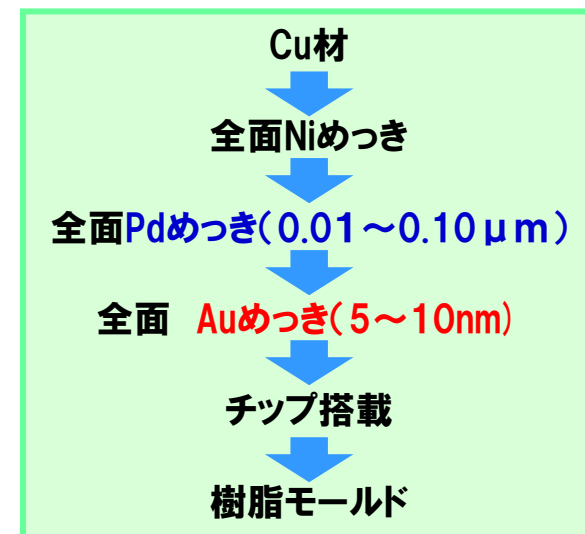
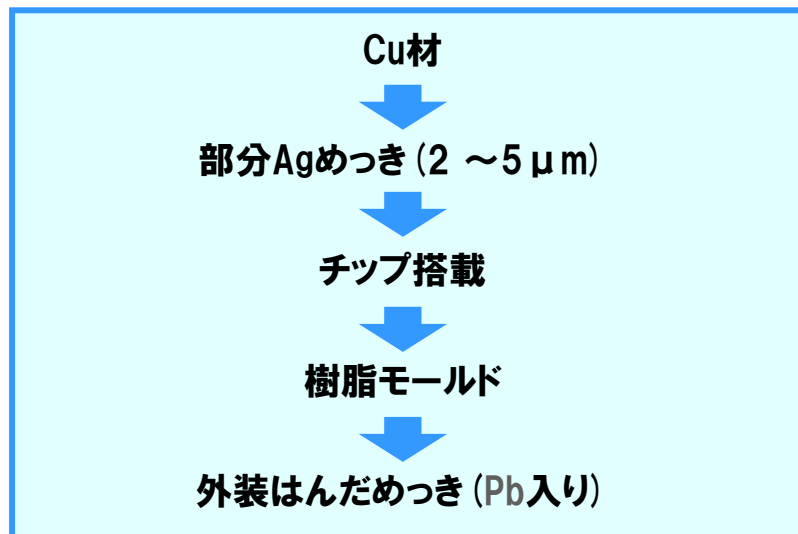
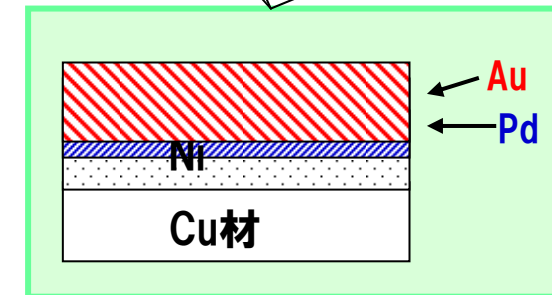
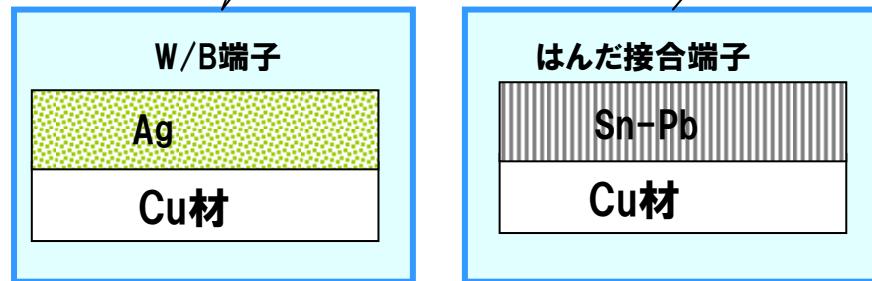
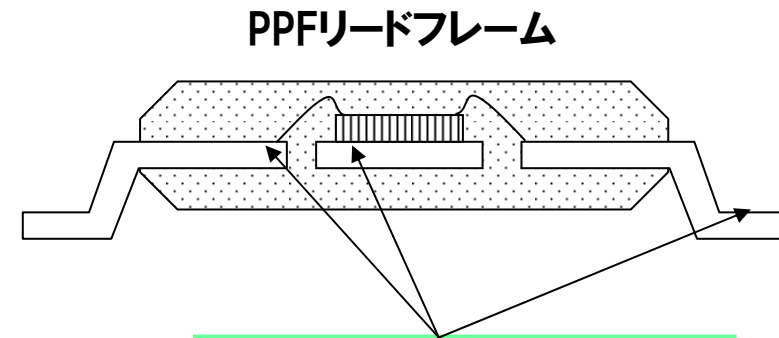
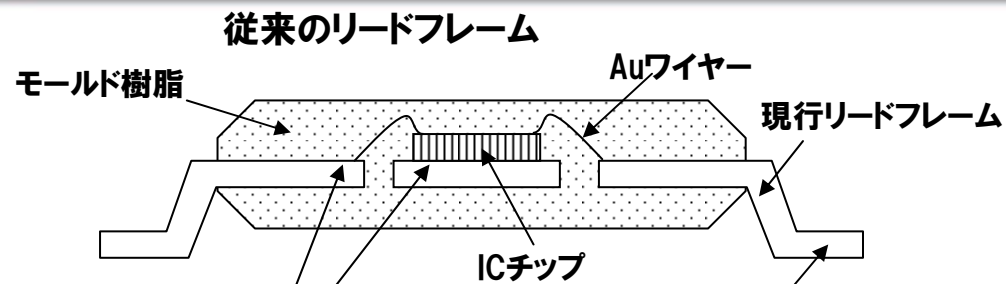
BAR7の粗利実績 (粗利の6.7%)



新規化合物の応用例2: NANOによる省Pd(今年上市)

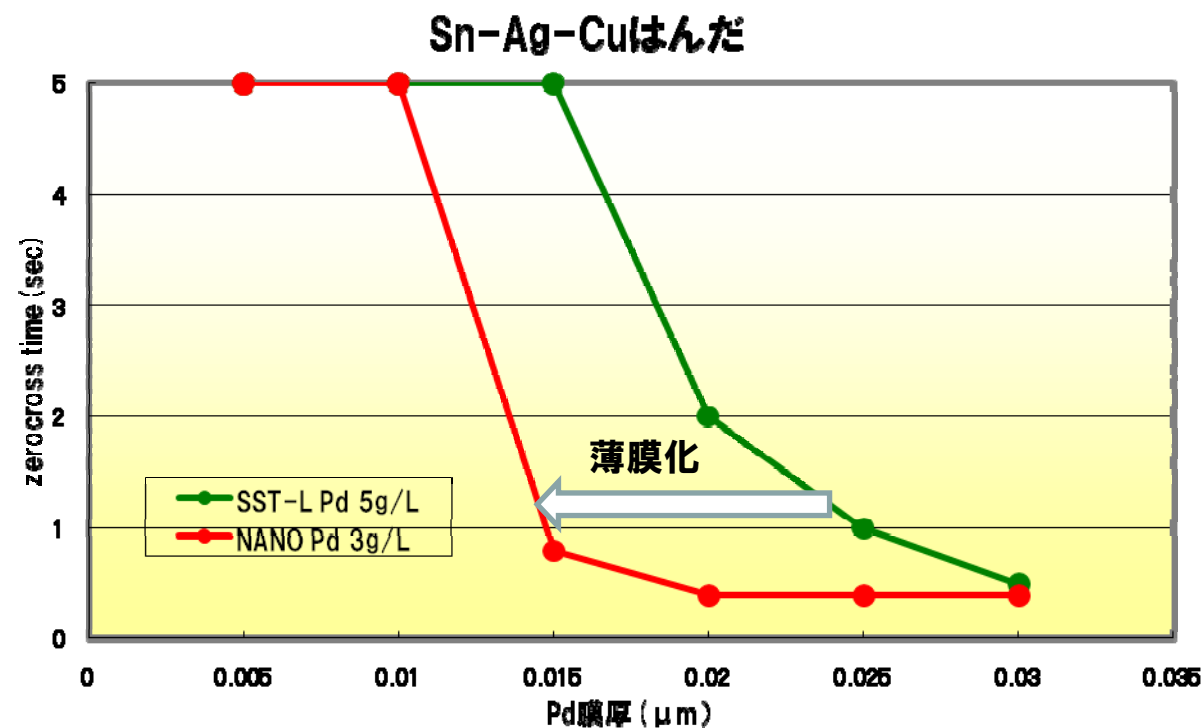
CS by CS

Customers Satisfaction by Challenge & Speed



めっき層構成 : Ni(1.0 μm)+Pd (0.01-0.03 μm)+ Au(0.005 μm)

加熱処理 : 400°C × 30秒



測定条件

項目	条件
温度	250°C
浸漬時間	5秒
スピード	10mm/sec
深さ	1mm
はんだ	Sn/Ag/Cu 96.5/3/0.5
測定機器	SAT-5100 RHESCA製
フラックス	R (ハロゲンフリー)

当該資料で用いられている業績予想ならびに将来予測は、いずれも当社の事業に関連する業界の動向についての見通し、国内および諸外国の経済状況、ならびに為替レートの変動、その他の業績へ影響を与える要因について、2010年4月時点で入手可能な情報をもとにした予想を前提としています。

これらは、市況、競争状況、新製品およびサービスの導入およびその成否、ならびに情報通信関連産業の世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受けます。よって、実際の業績は配布資料および決算説明で用いる予想数値とは、大きく異なる場合があることをご了解いただきますようお願い致します。

この資料の著作権は日本高純度化学株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可なく資料を複製・配布することを禁じます。

お問い合わせ先

TEL. 03-3550-1048 FAX. 03-3550-1006

経営企画室

管理部

ir@netjpc.com <http://www.netjpc.com>